

国外宣教 祈りの課題 2024年11月 (この課題を祈禱会などでぜひご活用ください)

<p>ブラジル <small>はまだけん ようこ</small> 浜田献・陽子</p> <p>ブラジリア アライアンス キリスト 宣教教会</p> 	<p>ブラジリア教会があらゆる面で整えられ、御霊に満たされて宣教のわざに励んでいけるように。ヴァルゼンボニータの諸集会が祝され、さらに救われる方が起こされるように。12月から2025年1月にかけて予定されているご家族の一時帰国の全てが守られるように、お祈りください。</p>	<p>タイ <small>はせべあいみ</small> 長谷部愛実</p> <p>(委託派遣宣教師) チェンマイ 日本語 キリスト 教会</p> 	<p>短期間で二回の洪水被害を受けたチェンマイの方々のために。教会と長谷部先生を通して必要な支援が、困っている方々に速やかに届けられるように。タイ北部及び隣国ミャンマーでも自然被害を被っている方々が多くおられます。必要な支援が速やかに届けられるように、お祈りください。</p>
<p>オペレーションワールドより アジア 21 の国</p>	<p>ネパールの人口の約55%がまだ福音を聞いたことがないと言われています。民族では 309 の民族の人々が福音に未だ触れられていません。特にヒンズー教の影響が強い山岳地帯に住む人々のもとに福音が届けられるように、そのために働き人が起こされ用いられるように、祈りましょう。</p>	<p>世界のために</p>	<p>2024 年も残すところあと 2 ヶ月となりました。この年は大きな分岐点を迎えた一年となるのかもしれませんが。後の時代の人々が振り返った時に、教会は、キリスト者たちは何をしていたのかと問うかもしれません。私たちは世界平和のために諦念することなく祈り続けたと記録されたいと願います。</p>
<p>オペレーションワールドより (最新の祈り) 2024/10/06</p>	<p>ポーランドのために。カトリック教会の影響が強い中、現在約 6000 人の司教が海外で働きに従事しています。80 年代には聖書研究会を通して信仰が新たにされた人々が大きな影響を及ぼし多くの人を助けました。主イエスとの人々の関係が深められ、更に用いられるように、祈りましょう。</p>	<p>中国</p>	<p>家庭教会は中東に多くの働き人を派遣しているようですが、昨今の中東情勢がかなり大きな影響を与え始めているようです。身の安全の確保がしっかりとされることと同時に、現地の方々の信仰が守られるように、中国出身の働き人たちの今後の営みが守られるように、私たちも共に祈りましょう。</p>
<p>— 韓国 — フィールド・ズームアップ(※)教会形成・アジア 21、そして世界へ…</p>			<p>国外宣教委員会</p>
<p>人口:約 5178 万人 プロテスタント 19.7%、カトリック 7.9% (2015 est.) 祈りの課題 クリスチャン人口は約30%に及び、教会は祈りに励み、宣教の情熱に燃えている。現在、2万人以上の宣教師が韓国から世界宣教に遣わされている。一方で1990年代以降教会の成長率は横ばいとなっており、教会は様々な課題に直面している。韓国の教会が霊的に刷新され、ますます世界宣教に用いられるように祈ろう。</p>			<p>「イエス・キリストを通して私の神に感謝します。」(ローマ 1:8)。パウロのこの表現は手紙の冒頭において稀です。我々の大祭司であるキリストによって切り開かれた主なる神との関係において、「私の神」と呼ぶことが可能とされています。神の業の故に我々も同様に感謝を捧げたいと思います。</p>

(※)フィールド・ズームアップの祈禱課題は「Pray for the World」(IVP Books 2015)を参照。国の人口などのデータは外務省HP及びCIA The World Factbookを参照。